参考資料1

(3) 日常生活の悩み

問 13 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。(〇は3つまで)

身体障害者手帳所有者においては、「健康に不安」が 30.6%でトップ。次いで「災害時や緊急時の対応に不安」が 27.7%、「将来の生活に不安」が 27.1%と僅差で続き、「外出に支障」 23.9%、「収入がない」 20.1%の順。療育手帳所有者では、「自分の意思を人に伝えることが難しく、コミュニケーションがうまくとれない」が 42.4%でトップ。次いで「将来の生活に不安」が 33.0%、「身の回りのことができない」が 28.2%。精神障害者保健福祉手帳所有者では「将来の生活に不安」が 42.2%でトップ。次いで「健康に不安がある」が 35.0%、「収入がない」が 33.2%。指定難病者では、「健康に不安がある」が 40.4%でトップ。次いで「将来の生活に不安」が 30.9%、「災害時や緊急時の対応に不安」が 24.0%。

年齢別でみると、20代~30代においては「将来の生活に不安」が4割以上と高い。10代以下においては「自分の意思を人に伝えることが難しく、コミュニケーションがうまくとれない」が4割以上と高い。40代以上になると年齢を追うごとに「将来の生活に不安」は低くなり、「健康に不安」の数値が高めの傾向にある。

「自立支援医療受給者証」の所有者についてみると、「将来の生活に不安」が高く 45.2%となっている。

発達障がいの診断名別でみると、全般的に「自分の意思を人に伝えることが難しく、コミュニケーションがうまくとれない」が高くなっている。

また、日常的に受けている医療ケア別では、「身の回りのことができない」や「健康に不安」が高くなっている。

(%)	<u>身体障害者手帳</u> (n=1,251) 0 20 40 60 80	<u>療育手帳</u> (<u>n=521)</u> 0 20 40 60 80	精神障害者保健 福祉手帳(n=389) 0 20 40 60 80	指定難病 (n=317) 0 20 40 60 80
身の回りのことができない	19.0	28.2	17.2	16.1
健康に不安がある	30.6	18.0	35.0	40.4
外出するのに支障がある	23.9	18.6	17.5	19.6
人が話していることの理解が難しく、コミュニケーショ ンがうまくとれない	9.8	27.8	13.6	3.5
自分の意思を人に伝えることが難しく、コミュニケー ションがうまくとれない	12.1	42.4	17.2	7.6
近所づきあいがうまくできない	2.0	3.6	9.3	0.9
お金の管理に不安がある	6.2	22.6	13.4	3.8
災害時や緊急時の対応に不安がある	27.7	22.5	13.6	24.0
施設に入れない(入所できない)	1.1	1.7	1.0	1.3
将来の生活に不安がある	27.1	33.0	42.2	30.9
必要なときに、十分な福祉サービスが使えない	2.2	3.8	1.5	0.3
相談する人(所)がない	2.1	1.2	5.1	1.9
相談する人(所)がわからない	2.6	2.5	4.4	2.8
治療又は通院できる医療機関がない	0.4	0.6	0.5	0.6
収入がない(少ない)	20.1	13.6	33.2	18.0
その他	2.2	2.9	5.7	2.8
特に困っていることはない	19.4	10.7	13.1	23.0
無回答	1 3.7	1.7	3.1	2.2